



あか
— 紅に秘められた可能性 —

「SHIRATAKA RED」発信中

町では、将来にわたり持続可能な社会を目指すべく「白鷹町まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しています。

そして、その中に掲げている政策パッケージの一つ「日本の紅（あか）をつくる町プロジェクト」。紅花生産日本一「日本の紅（あか）をつくる町」として、「紅（あか）」をテーマに交流人口拡大、観光振興を図り、紅（あか）にこだわったブランドとして「SHIRATAKA RED」を展開。

それにより、町の認知度及び町内産品の付加価値を高め、経済活性化を促進させるものです。

白鷹町は、今年度も紅花生産量が県全体の約6割を占め、生産日本一となりました。しかし、町の名を全国に売り出していくためには、ここからまた新たな形でしらかかの紅（あか）をPRしていく必要があります。

そこで今回は、これからの町のイメージアップの核となる、「SHIRATAKA RED」に関する取り組みの状況を紹介いたします。



紅花生産技術力の向上を図るための生産者研修会を開催 (㊦紅餅生産講習会 ㊧紅花生産者会議及び紅花畑土づくり講習会)

(参考) 紅花生産量の推移

	紅餅	すり花	乱花	シェア*
平成27年度	88.20kg	0.0kg	53.80kg	62.71%
平成28年度	129.15kg	2.6kg	47.95kg	65.36%
平成29年度	122.30kg	2.0kg	36.20kg	66.88%

* 山形県全体の生産量のうち、白鷹町の占める割合